

2022年度 第3回 ISO/IEC 国際標準化人材育成講座（通称ヤンプロ） 応募用紙

以下の1)及び2)について全てご記入の上、ご提出ください。

1) 応募者について

応募者氏名	(ふりがな：)
生年月日	___年___月___日 (2023年1月10日現在 満___歳)
所属企業・団体名	
所属部署・役職名	
連絡先	勤務先住所： TEL： E-mail：
現在の担当職務	※概要（技術分野、事務・渉外・研究等の別、知財や標準・認証との関係など）が客観的に分かるように記載ください。
標準化／適合性評価に関する経験 (国際、フォーラム、業界 等)	例) ・ ISO TC***/WG** 国内委員会委員/事務局：〇〇年 ・ IEC TC***/WG** 国際エキスパート/幹事/議長/コンビーナ（又は各アシスト）：〇〇年 ・ IEC TC***/WG** 関連技術開発：〇〇年 ・ ISO TC***/WG** 関連適合性評価：〇〇年 など。
自身の専門性に係る資格・教育歴・上記以外の経験 (知財管理等も含む)	例) ・ 日本規格協会主催の国際標準化研修の受講歴 等
関与中の ISO/IEC の TC/SC (見込み可、複数記載可)	例) ・ ISO TC***/WG** 国内委員会委員 ・ IEC TC***/WG** 国際エキスパート/幹事/議長/コンビーナ（又は各アシスト） ・ JTC1 SC2 国際エキスパート予定 (**頃) など、国内/国際と役割を具体的に。

<p>将来の国際標準化 関連活動の計画</p>	<p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自社で開発中の技術を国際標準にするため、開発を進めつつ国内工業団体を通じ、国際標準化へのアプローチを行う。 ・ 自社の技術を有効活用してビジネスを展開するため、保有技術をどのように標準化に結び付けるべきか、社内各部署と連携しその戦略を練る。
<p>本講座及びその後の活動を通じ自身が目指すべきだと考える人物像</p>	<p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際規格開発 WG に出席し日本からの提案をうまくリードできるような人物
<p>本講座の受講を希望する自己PR</p>	
<p>英語力(会話力) (TOEIC 点数、海外経験等、その能力を客観的に判断できるように記載願います)</p>	

次ページに上司の推薦の記載をお願いいたします。

